



76
1228
8

かぐれ
し



遠近懐宝

芝田町九月十日 後里 俗七郎

紫麻子

中

何れと申す七郎へ考まきし
 葉居し之のく大分以て女々又し
 のはハま
 こさが出来ぬやない
 イヤお前くは存
 てふさまきし
 といひて高橋のふらび葉居
 かつ
 いけんおきサ十八町の肉
 ありびて女の
 つか
 とし程わらふさまきぬ

牛町

名二鑑

牛町

名二鑑 牛町 名二鑑と四六流を

協の系巻 牛

町
二切見也

附録

品川

東海道品川宿

契園蒙

遊舟方角園并品川

甚好記

品川

六十五文
七文
四文
五分

名二鑑

品川

流道

寄る暇皆情の綴りなり
と恋の品さま
十進集歌
七の依

小舟
判記
大上
吉
品川
志
小華
や
南
京
更

遊里記
松上
吉
品川
志
く
付
不
小
金
と

くく成る江戸須記 品川で玉文得くく沙干武

品川

品川新着

品川歩行新着 一丁目 二丁目 三丁目 世麻子 上品

品川縣 百文七文五分 七文 浄土も大極吉安とま

かよ輝し及りき。幸い外八文字考と一人落さ

きよ葉居を由事さんと云はさき事くくを

次なすかかかんもその詞つらひ大切

道もけ八つ山小大門と建

品川本着

北品川着 一丁目 二丁目 三丁目 世麻子 上品 品川

三丁目 衣二世 浄土 髪衣裳表所 と梅 音短 下 お水 一 は

所とせくテウキウと云

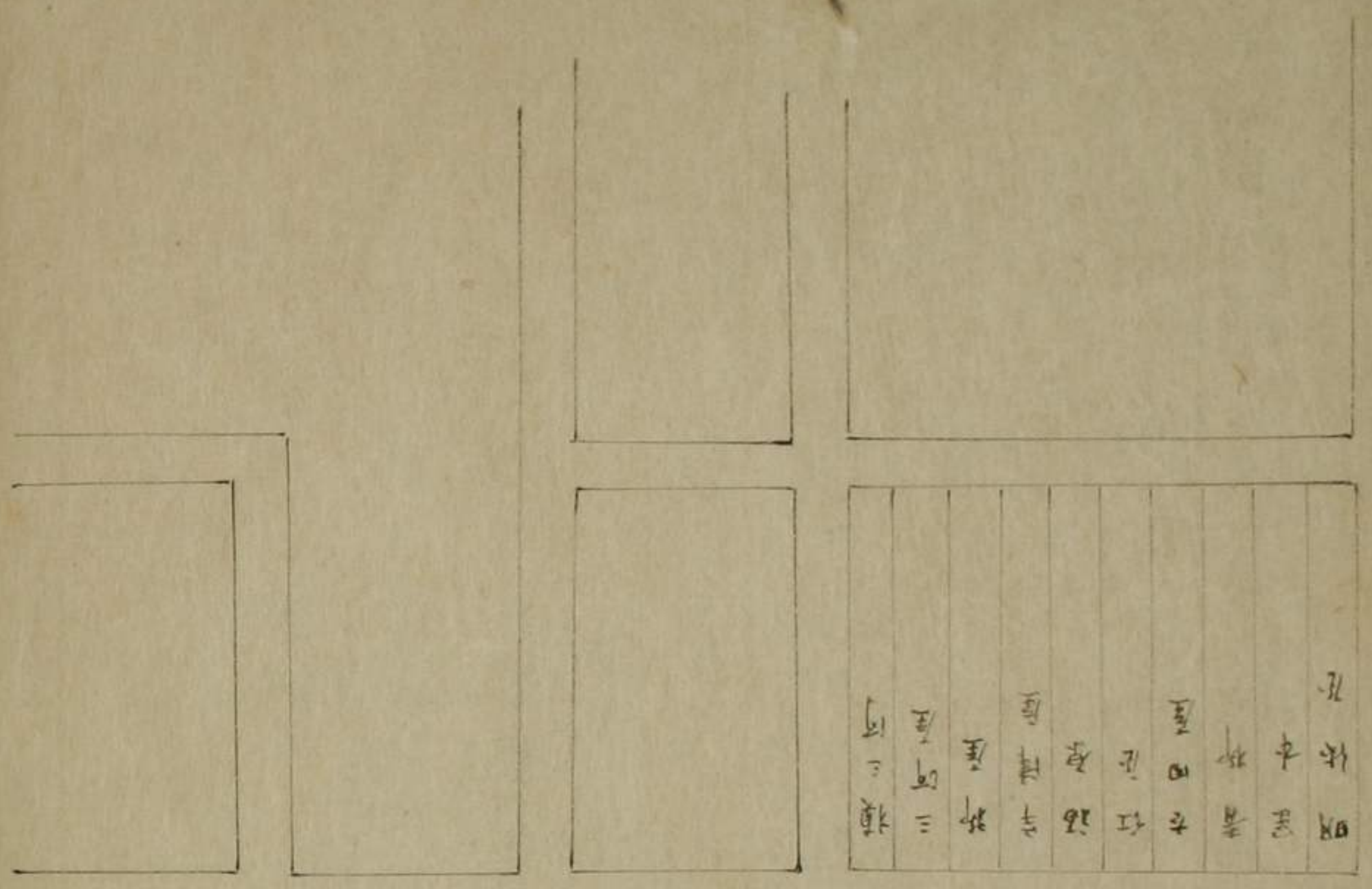
品川格向

南品川着 一丁目 二丁目 三丁目 四丁目 世麻子 品中

上南品川縣 衣四印 世浄土も髪の肌衣裳若くは

一 大極本着新着とまはる法一 志う一人く

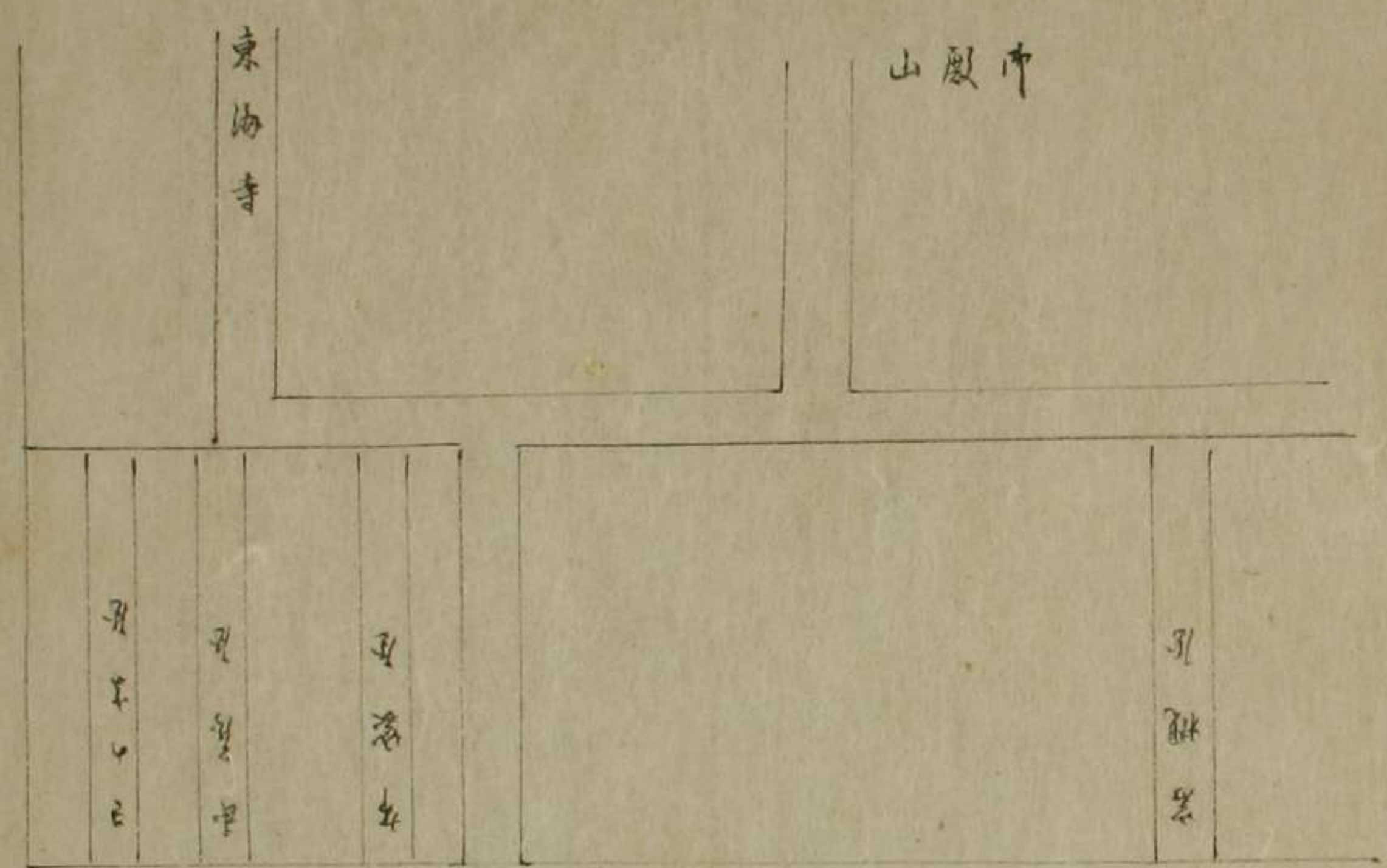
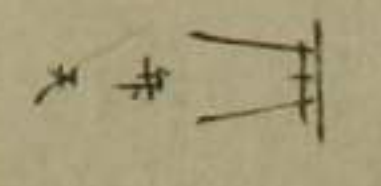
およりけなんもその詞つらひ遠りけ但



明
 宗
 寺
 在
 紅
 蓮
 寺
 對
 面
 三
 種
 樹
 可
 見
 也
 依
 本
 山
 屋
 中
 有
 紅
 蓮
 寺
 屋
 三
 種
 樹
 可
 見
 也

明宗寺新地一四 二一四

廣島	伊三	忠比	島崎	大星	淡田	梅本	松坂	相模	坂本	淡屋	新大	香石
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----



山
 殿
 中
 東
 協
 寺
 岩
 櫃
 依
 本
 山
 屋
 中
 有
 紅
 蓮
 寺
 屋
 三
 種
 樹
 可
 見
 也

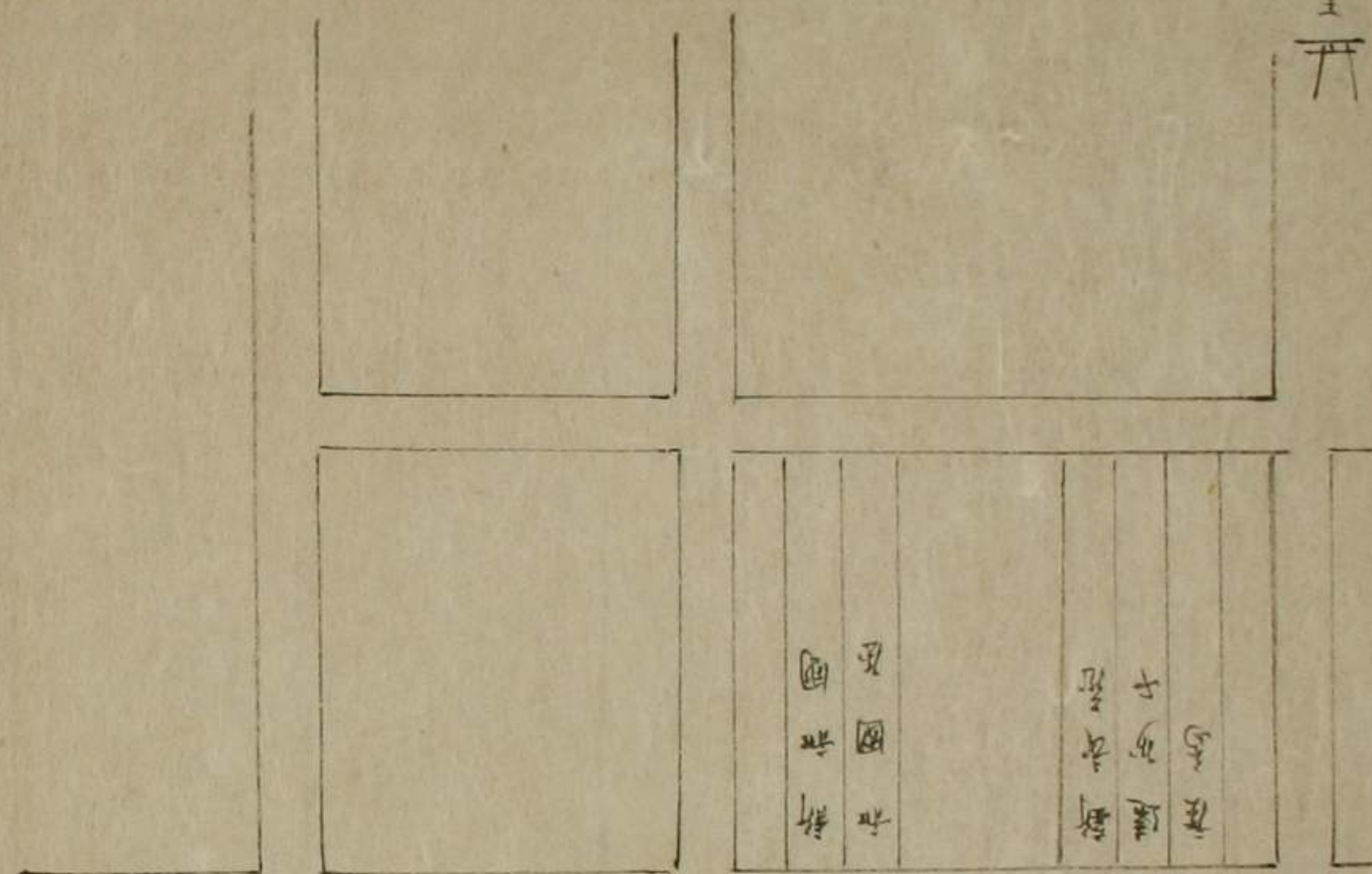
山殿中東協寺新地一四 二一四

大板	增本	中川	下村	角田	池田	飯田	千代	本陣	紀伊	大和	新百	伊勢	伊勢
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

伊
 勢
 伊
 勢
 新
 百
 大
 和
 紀
 伊
 本
 陣
 千
 代
 飯
 田
 池
 田
 角
 田
 下
 村
 中
 川
 增
 本
 大
 板

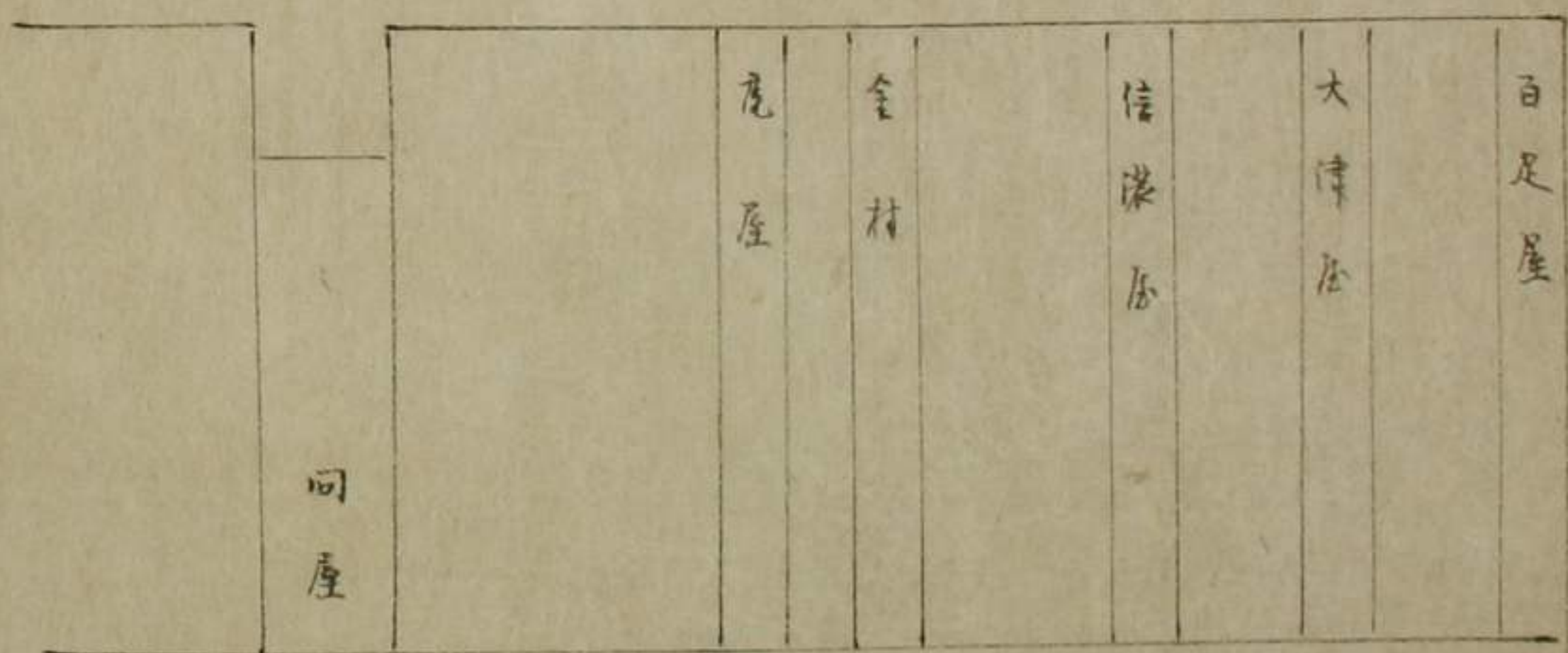
松手前ハ甚小一向ハ少一水形也

天王



新
世
國
世
國
世
國
世
國
世

四一四 四一三 四一二 四一一 四一〇



回屋

小塚原

武花國幸嶋取千住小塚原町日所中村町

解集覽小塚原町 中村町 上宿町 原町 八

十一石五斗 家敷五百一町内七十四町旅尾屋

内三十六町飯盛女百一 右ニテ五百石ノウキ

米是ヲ上納米全網ニテ庄鷹方日鳥見日心郡代

附野馬方野枝方ニ受取 園菜遊女方角号

子小塚原石二船小塚原 世所昔実盛賣敷の四

ら毛と蚤小深水 台我と娘也是より北園藤原

八向山 古跡好子 色里三十三之三 春二津子寺小塚

京寺 日神体廻り 鳥大明神 名のふり記小
 塚京より去りて 花の色はあまの影又也
 作初穂四百文 置芥子曰 比所元禄十六年二月去
 京上書小

大千住

武藏國足立郡 新元 大千住者 一月二十月三十月
 四月五月十月 江戸号解集覽 二千四百五石 家
 数千二百二十九町内 百四十一町 旅籠町内八十
 二町 飯盛女者 子日 契國策 遊女方角子 千

大竹庄	四中庄	大井庄	本井庄	尾張庄	新印路庄	白帯庄	信濃庄	永國庄
大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄
大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄	大井庄

刑罰二
 千人塚
 日向院寺

板橋

中山道板橋宿 達近懐室 下板橋 内平尾宿 上宿

中宿 下宿 契國策 遊女 方角号 板橋 紫麻子 下宿

板橋 六 此洋土 髪の丸衣裳 下 初 得小音 相

ま 初 得 一 此 大 橋 一 江戸 頂礼 板 橋 と

水 新 の と り 夕 へ 哉 板 橋 遊 里 花 工 と 士 板

橋 う け ら ま て 内 よ う う 浮 橋 萱 芥 子 曰

元 禄 十 五 年 五 月 吉 原 上 書 小 け 地 の 娼 家 聲 冒 の

更 と 記 と 世 俗 奇 談 は 不 中 山 乃 馬 次 の 始 上 下 小

更 と 記 と 世 俗 奇 談 は 不 中 山 乃 馬 次 の 始 上 下 小

新宿

甲州街乃内菱新宿 江戸砂子 内藤亦在安少至後
町々々。元禄の比江戸より高井戸まで四里の
行程長々として路之人足疲乏ゆへ新野と云ふは
内藤新右と唱へ享保の比新野破懐き〜元和
九年安永二月再任免ありて再任高井戸へ
二里 契國菜 遊女方角名未内藤新右 紫麻子 上品
四谷新右 七女 世浄土々漸々春 七按 安永 成鏡
一芝品川三田武八流川ありて入込い〜凡
俗格〜大橋八品川と云ふ保一人〜出

子
子
子
子
子
子

子
子
子
子
子
子

横町

子

子

子
子
子
子
子
子

子

子
子
子
子
子
子

子
子

子
子
子

甲州街道

五三十一

大井寺

子
子
子
子
子
子

子
子
子
子
子
子

大井寺

子

大井寺

子
子
子
子
子
子

子
子
子
子
子
子

子
子
子
子
子
子

よき人 石二銀 四ッ石寺 七堂伽藍あり 証判記

上上 四谷そき通の程照るの能い電甲の格

甲野新話 輝き 大見也と小見也に

初とやそ緒へ 見也と戸と大見也切と紙と小

見也と 何所へ 見也の後やがさ 一頻さ

む世たりとや ながさうもくもん 祿ナ

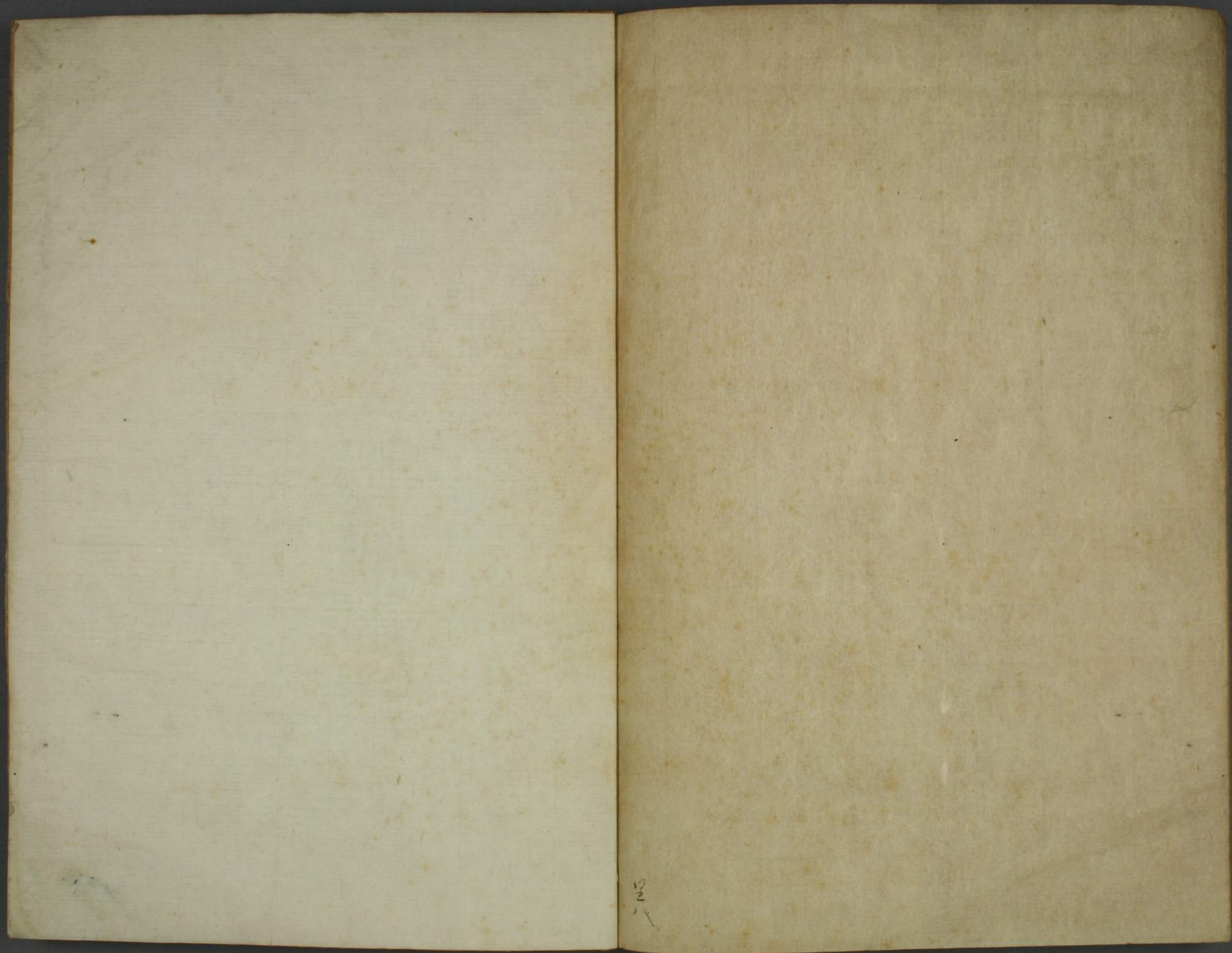
ニサどん 体初中がさ さいは去緒へけさとも初

ハ善法と悪うつと切とどの内も大う善法と

為直しと引越とてと跡と明座と有とお

切と初と緒へやつとそと悪く証判と去との

さホレニ 上徳徳の善法と見かそつとナニ
サつゆとふつちの方へハ見いそやそん 開社
ハ格子が通達たナ くんが夏く在何おうと
出と由ておきんそへ 津川とそあよ



21

